

蘭說
辨惑

盤石水夜話

上

35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53



碩子を成す人といふことか〜くさかきよ〜
わ〜ざ〜ん〜と云ふ

天明中一仲一冬期也

丹波 馬元晁徳

目錄

○ 菟巧上

○ 和蘭國名

○ 短命

○ 跟な

○ ぬさ酒

○ 硝子并圖

○ ちあゝ并図

○ ろんち

○ さうし

○ ねんどの

○ だん

○ 駝子 食火鶏并圖

○ ぶさく

所謂^{いひゆる}鸵鳥^{おびり}乃^{なり}卵^{たまご}なり此^{こゝ}の世^よ界^{かい}第一^{だいいち}之^の禽^{けい}類^{るい}の
 巨^{おほ}鳥^{とり}なりと^いふ^は其^{その}卵^{たまご}杯^{はい}盞^{せん}系^{けい}一^{いつ}巻^まく^る事^{こと}も
 い^いま^まの^のゆ^ゆで^で余^よ既^{すで}一^{いつ}蘭^{らん}畹^{たん}摘^{てき}芳^{ほう}中^{ちゆう}の^の因^{いん}説^{せつ}を^を
 し^しも^も本^{ほん}を^をけ^けり^りと^とす^す

甲^あく^く曰^い近^{ちん}年^{ねん}和^わ蘭^{らん}乃^{なり}り^りと^とす^すく^く鸵^た鳥^{ちゆう}と^とい^いふ^ふ大^{だい}鳥^{ちゆう}と^とい^いふ^ふ
 之^{この}の^のか^かし^して^て法^{ほう}所^{じよ}一^{いつ}持^ちわ^わる^るあ^あり^り存^{ぞん}一^{いつ}の^の因^{いん}説^{せつ}を^を
 い^いま^まの^のゆ^ゆで^で余^よ既^{すで}一^{いつ}蘭^{らん}畹^{たん}摘^{てき}芳^{ほう}中^{ちゆう}の^の因^{いん}説^{せつ}を^を
 その^{その}種^{しゆ}類^{るい}か^かし^して^て鸵^た鳥^{ちゆう}と^とい^いふ^ふ大^{だい}鳥^{ちゆう}と^とい^いふ^ふ李^り氏^し本^{ほん}草^{そう}の^のハ
 ち^ちよ^よ

鸵鳥



卵

李名「た」といふすはふあり

ゆらそす」といひ和蘭語オランダ語として「ゆらそす」といふと
 の血石とのみならず止血と外ちとくのくく機能あり「ぎ
 やゆん」と「ぢあゆん」となり硝子類を彫鑄ひんぎょうと云ふ
 と此石を用ひ一體玲瓏れいろうと云ふ玉石なり列いりして譯説
 わり摘芽は中ちゆうより出せ

○わふたんと うすていら

回まわていらくわりぬいとかせてつくなどの菓子もと
と虫製ちゅうせいなりや ぎせいらくわふたんと

右みぎより佛郎察ぶつりやうさつといふは漢かんを砂糖さとうは糖とうなり
 名な「わふたんと」といふ物ものなり「うすていら」ハ本
 名な「うすていら」なり「わふたんと」は糖とうなり
 「ぶらぶら」を砂糖さとうといふなり「うすていら」
 耐たくまへるものなりと軍陳長旅ぐんちんちやうりょなり「うすていら」
 といふ

○わふたんと

甲かくくわめんめんぶらぶらぶらぶらの糖とう甲かとと虫名ちゅうなあり

○写真鏡

何くもいふ。茲にうらうら硝子乃鏡を仕つけ。山水人物を
 うつゝ西ある品此ありて写真鏡とよぶものあり。
 元々鑿製のより。わとりふもあつて。や。
 是れ曰く。此を「どんくろ」わびふ」といふ。苦なり。此を好む
 家と往々擬製とるものあり。甚ど工夫しつゝ苦
 なり。其より写真鏡の各所を注をりといふ。だ。
 黄履莊の臨畫鏡と此ものなるべし。

どんあらかあじ

